

LPガスCP情報(2015年3月積み)

1. 3月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 500^{ドル} (前月比 +50^{ドル})
ブタン 460^{ドル} (前月比 -20^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油市況、石油製品市況が乱高下しながら下値を切り上げるなか、LPガススポット市況は続騰した。CP先物はプロパンが第2週に500^{ドル}を突破、第3週には一時510^{ドル}まで上昇する一方、ブタンはサウジの石化プラントの定修により供給に余裕がありインドにスポット販売したもようだ。期先は6月までバックワーデーション(期先安)だが7月以降は緩やかな傾斜でコンタンゴ。極東CFRは第3週でプロパン610^{ドル}、ブタン550^{ドル}と月初からプロパン40^{ドル}、ブタン20^{ドル}上昇。フレート市況は船舶需給が米国～極東玉の増加でタイト化し続騰。バンカーオイルは前月300～265^{ドル}台から大幅に反騰し、300～350^{ドル}台で推移。ナフサは原油市況に連れ高となり500～550^{ドル}で推移、月間平均前月比100^{ドル}の大幅上昇。一方、米モントベルビュープロパンスポット価格は、原油市況の底値切り上げと、プロパン在庫の減少で続騰、2日の270^{ドル}から17日には315^{ドル}まで戻した。

3月CPは前年同月比プロパン355^{ドル}、ブタン410^{ドル}の下落。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン12、ブタン30ポイント下落、前年同月比ではプロパン15、ブタン4ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	88	99	104		
CP先物指標:P	465	500	495		
CP先物指標:B	435	495	455		

② 原油市況等

原油市況をみると、1月一時45^{ドル}を割り込んだWTIは2月49^{ドル}台でスタート。石油掘削リグ数(陸上)の減少を受けて供給過剰の緩和と需要拡大の期待、リビアの生産低下などの地政学上リスクが意識される一方、米原油生産量はEIA統計(1983年～)で最高の929万bbl/dを記録、米国原油在庫も統計史上最高の434百万バレルまで積み上がり、先物市場はボラティリティ(変動幅)が高まり、48～53^{ドル}のレンジで乱高下を繰り返した。NYMEXでは中旬にWTI総取組高が174万枚と昨年7月以来の水準に増加、大口投機玉の買越残高は30万枚に迫った。米国主導の供給超過・在庫高は下押し圧力となり、底値を打ったかに見える市場も未だ底値が確認できない状況。

○2月積みアラビアンライト(2月2～27日)は54.435^{ドル}(前月比+10.342^{ドル})

熱量等価AL100% プロパン446.31^{ドル/トン} ブタン440.19^{ドル/トン}
AL比 プロパン112.03% ブタン104.50%

2. 2015年3～4月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16～15日①	119.91	59,955	55,159	+6,400	-2,000
26～25日②	119.40	56,700	56,100	+4,300	-800
1～30日③	119.59	56,800	56,200	+4,600	-500

*TTS平均は①が2月16日～2月27日まで、②は1月26日～2月25日

③は2月1～27日、①は4月仕切への影響、②～③は3月仕切適用。②、③は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。